



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 クルーズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 2138 URL <https://crooz.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小淵 宏二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者CFO (氏名) 稲垣 佑介 (TEL) 03-6387-3622
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	10,709	△1.9	253	△50.3	1,203	112.1	1,182	446.5
2023年3月期第3四半期	10,921	△7.9	509	△32.1	567	△24.5	216	△38.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,632百万円(910.9%) 2023年3月期第3四半期 161百万円(△70.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	106.36	103.71
2023年3月期第3四半期	19.46	18.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	28,075	11,606	40.7
2023年3月期	25,408	9,968	38.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 11,430百万円 2023年3月期 9,786百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,223	1.6	64	△90.0	1,140	81.6	1,097	330.5	98.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）496株式会社、除外 1社（社名）－
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
（注）詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	12,957,600株	2023年3月期	12,957,600株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,835,182株	2023年3月期	1,835,182株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	11,122,418株	2023年3月期3Q	11,122,461株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は「20XX年までに時価総額1兆円以上」という超長期的目標を掲げ、2018年5月10日をもって全ての事業を子会社化し、純粋持株会社となりグループ経営へと移行しております。この超長期的目標を最速で実現するべく、次世代の事業と経営者の誕生と成長、永遠のベンチャースピードを手に入れるための仕組み「CROOZ永久進化構想」を活用し、より多くの起業家を育成し、『SHOPLIST.com by CROOZ』（以下、SHOPLIST事業）を軸に、ショッピングやゲームなどのエンターテインメント領域を中心に、常に時代の変化に合わせて幅広くインターネットサービスを展開してまいります。

SHOPLIST事業のおかれるアパレルEC (BtoC) 市場は、2022年に約2.5兆円に到達しており、前年から約1,220億円拡大しております（注1）。

一方で、当該成長市場においてSHOPLIST事業は、前年同四半期と比較して取扱高及び売上高が減少しておりますが、その主な要因は引き続き訪問者数の減少が挙げられます。訪問者数の減少の主な要因は、SEOや広告経由での訪問者数が減少しているのがありますが、アパレルEC市場における競合が増えたことで、集客の難易度が以前にも増して高まっている点が否めません。現状の延長線上でSHOPLIST事業の訪問者数や取扱高及び売上高を完全に回復するには、抜本的な集客方法の見直しが必要であると考えており、取扱高及び売上高を再度成長軌道に乗せていくための施策に注力してまいります。

また、今後は新規事業であるGameFi分野に注力してまいります。GameFi事業における第一弾ゲームプロジェクトとして、当社グループのCROOZ Blockchain Lab株式会社が参画する『PROJECT XENO』が2023年5月10日にリリースされました。競合が多い状況でもあるため、現時点では『PROJECT XENO』単体の収益等は非開示とさせていただいておりますが、CROOZ Blockchain Lab株式会社の当第3四半期連結会計期間の売上高は344,135千円、営業損失453,103千円となりました。第2四半期連結会計期間の売上高が562,235千円、営業利益が195,895千円と比較するとどちらも大きく減少しております。当該事業の売上を構成している要素は、当社HPのFAQにも記載しておりますが、主として①ゲーム・マーケットプレイスでの課金及びセール売上、②マーケットプレイス取引手数料、③トークン価格変動による影響額、④新作ゲームの受託開発売上になります。そして、当第3四半期連結会計期間の売上高の減少については④の新作ゲームの受託開発売上がほとんどなくなったことが主要因となります。新作ゲームの開発費は相手方からいただいておりますが、開発が遅延した場合の開発費はCROOZ Blockchain Lab株式会社が負担することになっており、『エレメンタルストーリーワールド』が当初リリース予定よりも延期になったこと、及び『エルゴスム』の開発に想定以上に時間がかかっているためです。従いまして、『PROJECT XENO』の売上が減少したわけではありません。また、営業利益の減少の主要因ですが、受託開発売上の減少分に加え、2023年10月から開始した大規模プロモーションの費用計上、及び『エレメンタルストーリーワールド』のリリース直前の追い込みで開発原価が増加したことによります。

個別のゲームの状況についてですが、まず、『PROJECT XENO』については10月にTVCMを始めとした大規模プロモーション、及びそれに合わせたゲーム内施策を行いました。正直に申し上げまして期待していた効果が出ませんでした。その結果、10月、11月は売上高、営業利益共に大きく減少いたしました。しかしながら、この結果を受けてすぐに改善を行ったことにより、12月は新クラス「ネクロマンサー」のセールなどにより急回復し「リリース直後の急激なNFT需要増」という特殊要因があった2023年6月を除くと、過去最高の売上となり、結果として『PROJECT XENO』としての当第3四半期連結会計期間の売上は第2四半期連結会計期間と同等の水準となりました。

第二弾のブロックチェーンゲームである『エレメンタルストーリーワールド』につきましては、2024年1月15日にリリースすることができました。リリース直後のためまだはっきりとした事は言えませんが、9月と11月に行ったプレセールが比較的好調であったこと、リリース直後の2日間でのインストール数が『PROJECT XENO』の2倍以上である13万人を超えたことなどから、大いに期待しています。また、第三弾の『エルゴスム』につきましては鋭意開発中です。

GameFi事業はグローバルな市場でもあり、より大きな成功を狙っているため、現時点では足元の利益には重点を置いておらず、積極的に投資をしていくフェーズにあります。当第3四半期連結会計期間では結果的に大規模プロモーションを成功させることはできず大きなマイナスとなりましたが、今回の経験を活かし、短期的な利益ではなく中長期的に大きな利益獲得のために今後も積極的に投資していきたいと考えております。

メディア事業については、事業の核となる『ランク王』は当第3四半期連結会計期間の売上高は244,144千円（前年同四半期比95.1%）、営業利益が45,931千円（前年同四半期比80.9%）となりました。当第3四半期連結会計期間の売上高、営業利益共に少し減少いたしました。全体として事業進捗に問題はございません。さらに事業を伸ばすために、必要に応じて積極的に投資していきたいと考えております。なお、「メディア事業」セグメント全体の売上高、営業利益が前年同四半期比で減少しているのは、2023年2月に発表したとおり、広告代理店事業の大口の取引先との受託業務契約が終了したためであります。従来からメディア事業における注力事業は『ランク王』と位置付けており、当該事業全体としては、中長期的に見て大きく成長していけると考えております。

今後の主軸として注力する事業はGameFi分野で、特にブロックチェーンゲームについては国内だけでなくグローバルな市場において将来的に大きな利益をもたらす可能性があるため、当社が今までゲーム開発で培ってきたノウハウ等を総動員して、その成功確度を高めていきたいと考えております。また、GameFi分野とは別に、全く新しい新規事業領域でも新たな収益源を育成してまいります。

以上の結果として、経営上の目標を判断するための客観的な指標等である連結取扱高は当第3四半期連結累計期間で19,456,002千円（前年同四半期比15.3%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高10,709,948千円（前年同四半期比1.9%減）、営業利益253,109千円（前年同四半期比50.3%減）、経常利益1,203,408千円（前年同四半期比112.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,182,996千円（前年同四半期比446.5%増）となりました。

（注1）2023年8月31日経済産業省「令和4年度電子商取引に関する市場調査報告書」を基に記載しております。

セグメントごとの経営成績の状況を示すと次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① EC事業

売上高は5,322,153千円（前年同四半期比13.0%減）、セグメント利益は298,508千円（前年同四半期はセグメント利益24,269千円）となりました。

② GameFi事業

売上高は2,463,107千円（前年同四半期比22.8%増）、セグメント利益は94,909千円（前年同四半期はセグメント損失71,773千円）となりました。

③ メディア事業

売上高は724,261千円（前年同四半期比48.5%減）、セグメント利益は175,603千円（前年同四半期比72.3%減）となりました。

④ その他事業

売上高は2,200,425千円（前年同四半期比58.2%増）、セグメント損失は315,912千円（前年同四半期はセグメント損失76,403千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、投資その他の資産の「その他」の増加1,564,246千円及び売掛金の増加831,158千円などにより、28,075,946千円（前連結会計年度末比2,667,035千円の増加）となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、社債の減少1,500,000千円などがあった一方で、長期借入金の増加1,133,008千円、買掛金の増加619,221千円及び未払法人税等の増加454,242千円などにより、16,469,273千円（前連結会計年度末比1,029,329千円の増加）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上1,182,996千円及びその他有価証券評価差額金の増加458,622千円などにより、11,606,673千円（前連結会計年度末比1,637,706千円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境の変化は大きく、新規性の高い事業や新たなビジネスにも積極的に取り組んでいることから、当社グループの業績の見通しについて、適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示を見合わせておりましたが、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき算定した業績予想を公表いたします。

詳細につきましては、本日（2024年2月13日）公表いたしました「2024年3月期 連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,306,577	14,310,819
売掛金	2,502,628	3,333,787
その他	689,630	1,079,755
流動資産合計	17,498,836	18,724,362
固定資産		
有形固定資産	676,106	586,382
無形固定資産		
ソフトウェア	317,165	247,501
その他	9,671	23
無形固定資産合計	326,837	247,524
投資その他の資産		
投資有価証券	5,132,108	5,193,433
その他	1,666,517	3,230,763
投資その他の資産合計	6,798,625	8,424,196
固定資産合計	7,801,569	9,258,103
繰延資産		
社債発行費	108,504	93,480
繰延資産合計	108,504	93,480
資産合計	25,408,910	28,075,946

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,540,995	2,160,217
未払金	1,144,651	1,295,599
未払費用	448,979	448,855
未払法人税等	165,599	619,842
その他	2,604,744	2,699,760
流動負債合計	5,904,970	7,224,275
固定負債		
社債	9,000,000	7,500,000
長期借入金	467,358	1,600,366
繰延税金負債	115	15,592
その他	67,499	129,039
固定負債合計	9,534,973	9,244,998
負債合計	15,439,944	16,469,273
純資産の部		
株主資本		
資本金	460,163	460,163
資本剰余金	1,413,903	1,413,903
利益剰余金	10,437,457	11,625,158
自己株式	△2,661,697	△2,661,697
株主資本合計	9,649,827	10,837,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	139,112	597,735
為替換算調整勘定	△2,575	△4,770
その他の包括利益累計額合計	136,537	592,965
新株予約権	9,558	10,176
非支配株主持分	173,042	166,002
純資産合計	9,968,966	11,606,673
負債純資産合計	25,408,910	28,075,946

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	10,921,373	10,709,948
売上原価	6,011,780	5,637,830
売上総利益	4,909,592	5,072,118
販売費及び一般管理費	4,400,212	4,819,008
営業利益	509,380	253,109
営業外収益		
受取利息	65,384	63,338
為替差益	6,816	4,031
投資事業組合運用益	13,452	950,533
その他	24,757	35,971
営業外収益合計	110,411	1,053,874
営業外費用		
支払利息	21,049	30,857
持分法による投資損失	10,128	47,673
社債発行費償却	15,023	15,023
その他	6,288	10,021
営業外費用合計	52,491	103,575
経常利益	567,300	1,203,408
特別利益		
新株予約権戻入益	14	1,941
事業譲渡益	26,034	—
関係会社株式売却益	12	708,835
受取和解金	566	—
固定資産売却益	345	1,217
移転補償金	—	19,142
その他	10	58
特別利益合計	26,983	731,195
特別損失		
固定資産除却損	2,516	—
減損損失	4,720	—
投資有価証券評価損	—	51,071
事務所移転費用	4,561	—
事業譲渡損	1,337	7,574
事業撤退損	—	73,657
和解金	—	8,000
その他	8,404	19,105
特別損失合計	21,539	159,408
税金等調整前四半期純利益	572,745	1,775,194
法人税、住民税及び事業税	381,746	599,238
法人税等調整額	△16,075	—
法人税等合計	365,671	599,238
四半期純利益	207,074	1,175,956
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,400	△7,039
親会社株主に帰属する四半期純利益	216,474	1,182,996

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	207,074	1,175,956
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,109	458,622
為替換算調整勘定	△3,490	△2,194
その他の包括利益合計	△45,599	456,427
四半期包括利益	161,474	1,632,383
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	170,874	1,639,423
非支配株主に係る四半期包括利益	△9,400	△7,039

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2024年2月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法156条の規定に基づき、下記のとおり、自己株式取得に係る事項の決定について決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 自己株式の取得を行う理由

機動的な資本政策等の遂行と、1株あたりの価値向上および株主の皆様への利益還元を目的として、自己株式取得を行うものです。

2. 取得の内容

- | | |
|----------------|---|
| (1) 取得する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得する株式の総数 | 3,640,000株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に占める割合32.7%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 20億円(上限) |
| (4) 取得する期間 | 2024年2月14日～2025年2月13日 |
| (5) 取得方法 | 東京証券取引所における市場買付 |

(ご参考) 2023年12月31日時点の自己株式の保有

発行済株式総数(自己株式を除く)	11,122,418株
自己株式数	1,835,182株